

2007年度高槻メディア・リテラシープロジェクト報告

高槻市立A中学校2007年度メディア・リテラシー授業実践報告を中心に

FCTメディア・リテラシー研究所

「子ども・若い人たちとメディア」研究プロジェクト

担当 森本洋介

・授業の目標と枠組み

今日のようにメディアからの情報があふれる社会において、分析や制作活動を通じて、メディアを批判的かつ多面的に分析し思考する力の獲得をめざすメディア・リテラシー教育を、系統的に学校教育で学ぶ実践の場をつくるべく、FCTメディア・リテラシー研究所は高槻市立A中学校および地域の青少年センターと協力して授業づくりを行ってきた。2006年度に行った、生徒へのメディア環境調査（普段どのようなメディアに接することが多いか、具体的にどのような番組や雑誌等をみているかなど）と、試験的な授業（「私のメディア史」づくりを通じて、今までどのようなメディアと接してきたかを振り返る）を基にして、2007年度は2年生に対して本格的に授業を開始した。授業の枠組みは2年生選択科目「技術」として、基本的には毎週木曜日の2時間目（9:50～10:40）に実施された。本校は2学期制を採用しており、半期のおよそ15時間を1セットとして、前期・後期両方で実施された。15回という限られた時間数のなか、メディアはすべて構成され、「現実」をつくり出していることを意識化できるようになること、互いに分析して得られたデータをもとに思ったことをあげて言い合い、コミュニケーションできるようになることを最大の目標とした。分析テキストは、授業時間が50分と制約があるため、主にテレビCMをテキストとして取り上げた。

前期（5月10日～10月11日 7月後半～8月いっぱい夏休み）

受講者：男子6名、女子11名の計17名

5月10日 CMの時間量

1. 授業計画のおさらい（5分）
 2. 本日の授業の説明（5分）
 3. 書き方の指導込みで、テキスト視聴＋記入（15分）
 4. ディスカッション（15分）
- まとめ（5分）

・使用テキスト：「砂時計」MBS 13:00-13:30

・本時の目的

①番組中のCMの時間量に気付く。②どのようなCMがあるのか、なぜそのような商品・サービスのCMが流されているのか、番組の放送時間帯や予想される視聴者層を想像し、考える。③CMを意識してみられるようになる。

5月17日(45分授業) 前回の続き

1. 前回何をやったかを振り返り、テキストを再度視聴(10分)
2. 議論の続き。前回の議論の思い出しから始め、最後の問いに入る。(15分)
3. 発表(10分~15分)
4. 振り返りシート記入(5分)

5月24日 CMの映像言語①

使用テキスト：ドコモ「7シリーズ」

1. 導入(3分)→新聞と言語の文法を織り交ぜて
2. 映像言語の説明(10分)実際に画面をみせながら
3. テキスト分析 ①まずみる ②もう一度みる ③ショット数を数得る ④スロー ⑤消音
⑥目をつぶる ⑦確認のため再度普通にみる (合計10分)
4. テンポおよび映像技法についてグループ議論(10分)
5. 発表(5分)
6. メディアログの説明(7分)→できなければ議論と発表の時間に配分
7. 振り返りシート記入(5分)

・本時の目標

①映像言語とは何かを知る ②映像言語を書き取る ③感覚でCMについて語るのではなく、書き取った映像言語を根拠にして自分の意見を相手に伝える/相手の意見を聴く

5月31日(1時間目) CMの映像言語②

1. 前回の振り返り(5分)
2. 問いについての議論の続き。主に問いの最後2つ。(20分)
3. 発表+総括(10分)
4. メディアログの説明(5分)
5. 自己評価シート(5分)

6月13日(水・2) ターゲット・オーディアンス①

使用テキスト：au「矢沢栄吉」、ソフトバンク「予想ガイ」、ドコモ

1. 導入。ターゲット・オーディアンスの紹介込み。(5分)
2. 記入シートの書き方説明(例をみながら)(5分)
3. テキスト視聴(とりあえず全部を一覧)(3分)
4. 分析シート記入→テキストそれぞれについて①普通にみる ②再度 ③音声消す ④スロー
⑤普通にみる(20分)
5. 各班で、記入シートの確認作業(10分)
(メディアログについて再度説明)
6. 自己評価シート(5分)

本時の目的

①ターゲット・オーディエンスとは何かを知る ②CM はターゲットを想定してつくられ、それとともに映像言語が異なってくることに気付く ③CM にはテレビ局や広告企業、広告主がいることを知る ④それら広告を出す側が、オーディエンスをどのように考えているのか考える。

6月21日 ターゲット・オーディエンス②

1. 前回の続きの説明 (ロス5分+説明5分 (映像視聴3分:計13分))
2. 問いの残りの2問を話し合い (7分+調整)
3. 発表 (全ての問いを各班に発表してもらう:25分 (各班6分:1問あたり1、2分))
4. まとめ+授業の感想を記入 (2分+3分)

6月28日 CMの伝える価値観①

使用テキスト:コカコーラ「GTA編」「ダイエットコーラ」「いいほうに考えよう」

1. 導入 (缶コーヒーのラベル) (7分)
2. 記入シートの書き方説明 (例をみながら) (5分)
3. テキスト視聴 (とりあえず全部を一覧) (3分)
4. 分析シート記入→テキストそれぞれについて①普通にみる ②スロー ③普通にみる (20分)
5. 各班で、記入シートの確認作業+問い1 (10分)
6. 自己評価シート (5分)

本時の目的

①CM には日本人もしくは人間としての価値観・ステレオタイプが含まれていることに気付く。
②やや高度なテキストを読み解くことに挑戦する。

7月5日 CMの伝える価値観②

1. 前回の振り返り。テキストをみながら。人種・民族について書き出すということを、松坂 (分析テキスト「アクエリアス」) とソフトバンク予想ガイを例にして解説し、議論を進めるヒントを与える (15分)
2. 問いについての議論の続き (15分)
問い→ダイエットコーラ+コーラのどちらか一方の分析に集中する。
3. 発表+総括 (15分)
4. 自己評価シート (5分)

9月6日 映像制作①

1. 前半の授業の振り返り (5分)
2. 絵コンテの書きかたについて説明 (5分)
3. 各班で打ち合わせ (30分)
4. カメラの扱い方について。自己評価シート (5分)

本時の目的

①撮影の準備を完璧にする。

9月13日 映像制作②

・50分を通して前回の続き（絵コンテをつくる）

（9月20日は体育祭りハーサルのため授業変更に伴い中止）

9月27日 映像制作③

・撮影の仕上げ

10月11日（木）前期最終授業

テーマ「自分たちでつくった作品を互いに振り返る」

授業の目的

- ・自分たちでつくった作品をメディア・リテラシーの視点から分析し、伝えたいことが伝えられていたか、前期で学んできたことが活かされているかを自分たちなりに考える。
- ・それぞれの作品について、互いの作品を尊重しながら批判し、議論する。

10月18日 後期授業開始

後期は男子8名、女子4名でスタートしたが、期間中に転校等で女子2名が抜け、最終的に10名となった。

1. それぞれ自己紹介

→前期に生徒が作った作品をすべて観て、各作品に関するコメントを1人ひとりが話す。

2. メディア・リテラシーの授業についての説明

10月25日 今週のテレビ日記①

目標：メディア、具体的にほぼ毎日接しているテレビについて、どのようなジャンルの番組をどれくらい観ているのか、意識化できるようにする。

1. 後期の授業計画

2. 今週のテレビ日記

*グルーピングは好きな人間同士～11月まで

11月1日休講

11月8日 今週のテレビ日記②

1. 班活動①

→前回の活動を基に、配布シートに、どのジャンルの番組が何本あるかを数えていく。いくつ

かの番組はどのジャンルになるか判断に迷うものもあったが、それはそれで各班の見解に基づいてということにしておいた。細かな違いはあって当然なので。

2. 班活動②

→①で記入したことを基に、生徒が、自分たちでどういったジャンル・時間枠の番組を観ていることが多いかを議論する。

11月15日・22日 CMの数量分析

使用テキスト：フジテレビ系列『あいのり』中のCM

1. CMの数量を数え、業種別に分ける。
2. 問いに従って議論。

11月29日 CMの映像言語①

使用テキスト：ワンセグケータイ「PUFFY編」

1. 導入（10分）
2. 映像言語の説明（10分）
3. テキスト分析 ①まずみる ②もう一度みる ③ショット数を数得る ④スロー ⑤消音 ⑥目をつぶる ⑦確認のため再度普通にみる（合計10分）
4. 記入シートの確認（10分）
5. 全体議論（5分）
6. 振り返りシート記入（5分）

12月4日（特別編成のため火曜日） CMの映像言語②

1. テキストを見せ、前回のことを思い出す（5分）
2. グループ議論の記入シートを配り、テンポについて議論（5分）→発表1班
3. 続いて映像技法について、例を全体議論で話しながら示し、各班で議論（10分）→発表1班
4. 同じく音声技法（10分）→発表1班
5. 問いの最後。ここはまず議論させ、最後に全体議論（10分）
6. まとめ（5分）
7. 振り返りシート記入（5分）

・本時の目標

①映像言語とは何かを知る ②映像言語を書き取る ③感覚でCMについて語るのではなく、書き取った映像言語を根拠にして自分の意見を相手に伝える／相手の意見を聴く

12月13日（45分授業） ターゲット・オーディアンス①

使用テキスト：キリン「FIRE」、コカコーラ「クリスマス編」「ダイエットコーラ リアディゾン編」、サントリー「FFVIIポーション」

1. 導入。（5分）
2. 記入シートの書き方説明（例をみながら）（5分）

→例として扱うテキストは映像言語で扱ったワンセグケータイ

3. テキスト視聴（とりあえず全部を一覧）（3分）
4. 分析シート記入→テキストそれぞれについて①普通にみる ②再度 ③音声消す ④スロー
⑤普通にみる ⑥再度みる（20分）
5. 各班で、記入シートの確認作業（10分）＋自己評価シート

本時の目的

- ①ターゲット・オーディエンスとは何かを知る ②CMはターゲットを想定してつくられ、それとともに映像言語が異なってくることに気付く ③CMにはテレビ局や広告企業、広告主がいることを知る ④それら広告を出す側が、オーディエンスをどのように考えているのか考える。

12月20日（45分授業） ターゲット・オーディエンス②

1. 前回のおさらい（5分）
2. グループディスカッション（25分）その1
3. 発表（10分）
4. グループディスカッションその2（5分）
→残り2つの問いについて、残り時間でできるだけ考える。
5. 連絡等（1分）

1月10日 テレビドラマにみる価値観①

テキスト：フジテレビ系「ガリレオ」（2007年10月～12月）の初回の一部分

1. 導入・新年の挨拶（10分）
2. テキスト視聴：1回目は記入シートを配らずに観る。テキストの内容を1回目ですっきり確認し、記入シートを配布。2回目で記入していく。（30分）
3. 個人の記入シートに記入作業。（10分）

1月17日 テレビドラマにみる価値観②

導入：阪神大震災について。身近な話と報道のあり方の話。（5分）

1. テキストの確認（10分）
2. 個人の記入シートの確認（10分）
3. グループディスカッション：問い1つ目を議論して発表。（25分）

1月24日 テレビドラマにみる価値観③

1. 問い①の振り返りと問いの意義の説明（5分）
2. 問い②議論＋発表（10分）
3. 問い③議論＋発表（20分）
4. グループディスカッション全体のまとめ＋補足（10分）
5. 次回からの制作について（5分）

1月31日 映像制作に向けて（導入）

1. これまでの分析活動の振り返り。どのようなことを後期で学んできたか、軽く話をしながら全員で振り返る。どのような活動（今週のテレビ日記など）があったか。どのようなCMを分析したか。どのようなテーマ（映像言語など）があったか。（10分）
2. 映像制作についての説明（10分）。資料配布。
3. 前期の作品をあらためて観る。（15分）
4. 班作り（15分）

2月7日 映像制作に向けて①

1. 導入。中国製ギョーザ報道について考える。（15分）
2. 絵コンテと脚本づくりに取り掛かる。

2月14日（1時間目） 映像制作に向けて②

1. 絵コンテ・脚本づくり
2. 小道具づくり

2月21日 映像制作に向けて③

1. 制作手法のヒントとして、2月の市民講座で制作した3つの作品を鑑賞する
2. 作業の続き

2月28日 映像制作に向けて④

- ・完成品をつくる

3月6日 作品の視聴・分析・振り返り

1. 各班の作品の視聴（3回程度。10分）
2. グループディスカッション（15分）
3. 発表（15分）
4. まとめ（10分）

総括

少なくとも3分の2くらいの生徒を、メディアを意識化できる（今まで考えたこともないようなこと、例えば番組中のCMの時間量や業種が気になる、CMの提示するイメージについて、今までは特に気にも留めなかったのに、なんとなくではあるが考えるようになる、など）状態にもっていくことができた（全授業終了後の生徒へのインタビューおよび授業中に記録したディスカッションシートの内容などから判断）。ほぼ半期でメディア・リテラシーの学び方・学ぶ意味についてなんとなく理解でき、特に指示されなくても分析・議論ができるようになっていった。ただし、授業で扱ったメディア、すなわちテレビにしかそういう考え方ができておらず、その他のメディアに対して同様の考察をすることがまだ困難にあることも課題として浮上した。また、授業中に「どのようなCMを視たか」を覚えている生徒は多くいたが、「そのCMを視て何を話し合

ったか」についてはあまり覚えていない生徒が多かった。よって、メディア（テレビ）を意識化できる入り口にまでは来ているが、メディア・リテラシーにおける問いの発し方を自らできるようになる能力は、まだ生徒には根付いていないようだ。